



現役の活動状況

第72回高校春季総合体育大会、兼、第69回インターハイ予選

2018年4月29日～6月10日

※男女1チーム インターハイ出場

男女5チーム 近畿大会出場

男子 参加66チーム

8代目顧問・堀川 美子 (27期生)

[北ブロック大会・リーグ戦]

- 寝屋川 11 - 18 都島工業
 - 寝屋川 18 - 17 大阪市立
- (北ブロックトーナメント戦・進出ならず)

3年生7名、2年生4名は、昨年秋の新人大会終了後、基本に戻っての、練習をしてきました。

少しですが、ハンドボールがわかってきたのか、一人一人が、自分の持ち味を、発揮できるようにも、なってきました。

しかし、気持ちの面では、やはり「強くなったなあ」とは、なかなか思えません。

春季大会の抽選会で、練習試合をしたことがない、都島工業と、大阪市立を、引きました。

都島工業は、昨年度の、新人戦を見たときに、体つきもたくましく、馬力のあるシュートを、打つ選手がいるなあと思って、印象に残っていた、チームでした。

北ブロック・リーグ戦は、都島工業：大阪市立から始まり、どちらも、新人戦の時以上に、力をつけていました。

市立も、都島工業に善戦していましたが、後半息切れで、都島工業は、1勝しました。

その日、都島工業はダブルの試合で、寝屋川との対戦です。

オフィシャルで、都島工業の試合を見てしまったのが、寝屋川の弱点でした。

自分達のプレーに、自信がないのが、寝屋川の男子です。

ノーマークまでは、作れるものの、そのシュートを、はずしまくり、アタフタする試合に、なりました。

それでも、寝屋川は、速攻で走りこんで、チャンスをつくろうと、がんばっていました。

「都島工業が、ダブルで、バテてくれないかな？」と、いう思いも、自分達のシュートのミスで、追いつくことができませんでした。「自分に、自信がつくまで、努力する！」という行動が、なかなか取れない、現実があります。

2日目は2勝した都島工業は、北ブロック・トーナメント進出が、決まり、消化試合となる、市立との試合でした。

3年生は、自分達がやってきたプレーを、出し尽くし、人数の少ない2年生も、3年生と一緒に、思い残すことなく、試合ができました。

新学期を迎え、8名の新入部員が、4月のクラブ体験後に、入部してきました。

2年生が少ないので、「3年生が引退したら、すぐに、自分達は、先輩と一緒に、試合をやるんだ！」と、やる気も、十分感じられます。

1年生も、初めて見た、寝屋川のチームプレーの試合に、感動し、自分たちも、頑張ろうと、強く思ってくれたようです。

新チームは、1年生に、頑張ってもらわなければ、なりません。この3年生と同様、一から練習をしています。

幸いにも、2年生が、少ない人数ながら、一生懸命、1年生に教えています。

今年の夏の合宿は、男女ともに、見合わせることにしました。

来年の春休みに、行う予定です。

7月中旬以降、寝屋川市民体育館が、取れていますので、是非、練習に、来てあげてください。

まずは、8月の秋季大会目指して、頑張っていきます。



女子 参加42チーム

7代目顧問・外部指導者・赤星 明

[北ブロック大会・リーグ戦]

- 寝屋川 12 - 11 北千里
- 寝屋川 24 - 7 牧野

(北ブロック・トーナメント戦・進出)

[北ブロック大会・トーナメント戦]

- 1回戦 ● 寝屋川 10 - 22 茨木
- (中央大会・進出ならず)

北ブロック・リーグ戦の初戦で、北千里と対戦し、なかなか、自分達のリズムに乗れず、苦戦しましたが、何とか、勝つことができました。

次の牧野戦では、みんなの調子が合い、練習の成果が見れました。後半には、新2年生も、公式戦デビューをし、初得点しました。

2勝して、北ブロック・トーナメントに進み、中央をかけて、茨木と対戦です。

春休みの練習試合では、競りはしていたものの、勝っていたのですが、女子の試合は、本当に、わからないものがあります。

その試合の流れ、ムードで、左右されます。

茨木との試合は、まさに、その通りになりました。

前半7：9で、負けてはいましたが、まだ戦いには、なっていました。

後半すぐに、1点を取られ、次の攻撃のとき、パッシブプレー(ストーリング)を、取られました。

審判の手が上がると、パス6本以内に、シュートをしなければ、なりません。

私は日頃、キャプテンでエースの選手に、「審判の手が上がったら、君がシュートを打つか、無理なら、ゴールの外に、ボールを投げるように」と、言っていました。

エースの選手は、味方からのパスで、シュート(枠の外に、投げる)を、しました。

しかし審判は、その前の選手のパスで、笛を吹いていたので、キャプテンは、退場になりました。

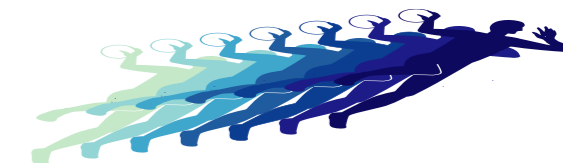
退場者が出たときの、オフenseは、「じっくりとボールを回し、審判の手が上がる頃まで、頑張って、マイボールにしておき、それからシュートを、打つこと」と、日頃から言っていました。

しかし、3点負けているのが、あせりを生み、すぐにシュート、それもロングシュートで、相手に止められ、速攻され、点数はどんどん、開いていきました。

その後は、寝屋川高校の「守って、速攻」の、よさも出ず、大敗しました。

8ヶ月前の秋季大会で、大阪ベスト4まで行ったこのチームで、「近畿大会出場を！」と、思っていたのですが、本当に、残念でした。

負けたその後には、生徒に適切な言葉をかけてやることも、できませんでした。





退職するまでの13年間、私が勧誘して、入部してくれた生徒も、この3年生で、最後になりました。

現在、男女ともに、人数が少ないですが、堀川先生の指導のもと、私も微力ながら、手助けをさせてもらいたいと、思っています。

[現役の状況]

| 学年 | 男子 | マネージャー | 女子 | マネージャー | 合計 |
|----|----|--------|----|--------|----|
| 3年 | 7 | 0 | 14 | 1 | 22 |
| 2年 | 3 | 1 | 3 | 0 | 7 |
| 1年 | 8 | 0 | 5 | 0 | 13 |
| 合計 | 18 | 1 | 22 | 1 | 42 |



大阪大会方式

(1) 秋季大会

- 8月上旬、大阪府下全校、シード制なしのオープントーナメント方式で行われます。
 - 2017年度 参加校 男子 67チーム
女子 42チーム

- 春のインターハイ予選後、大部分のチームは1~2年生の新チームでの参加となりますが、3年生の参加も、可能

(2) 国体

- 10月
- 府県選抜チームとして出場、近畿で男女2府県チームが国体出場

(3) 新人大会、兼、全国選抜予選大会

- 10~11月、1~2年生の新チームでの大会
 - 2017年度 参加校 男子 66チーム
女子 41チーム
- 4月の春季大会、兼、インターハイ予選の、中央大会の上位4チームがシードされ、その4チームを除くチームで、南北ブロック大会を開催
 - 北ブロック大会(寝屋川参加)
2017年度 参加校 男子 31チーム
女子 20チーム

- 北ブロック大会でも、4月の春季大会、兼、インターハイ予選の、北ブロックの上位4チームがシードされ、まず、そのシード4チームを除くチームが、3チームずつでブロック・リーグ戦を行い、勝ち抜いた1チームが、北ブロック・トーナメント戦に進出

- 次に、北ブロック・リーグ戦を勝ち抜いたチーム同士で、北ブロック・トーナメント戦を行い、4チームを選出。そして、その北ブロック・トーナメントを勝ち抜いた4チームと、北ブロックシード4チームで、トーナメント戦を行い、北ブロック1~4位を決定し、中央大会に進出。

- 中央大会は、まず、南北ブロック勝ち抜いた4チーム同士で対戦し、次に、その対戦を勝ち抜いた4チームが、中央大会シード4チームと対戦、そして、その対戦を勝ち抜いた4チームで、トーナメント戦を行い、大阪府の1~4位の順位を決定
 - 1月開催の近畿新人大会、兼、全国選抜予選大会に、大阪府より、男女2チームが出場
 - 3月開催の、全国選抜大会に、近畿より、男女6チームが出場

(4) 春季総合体育大会、兼、インターハイ予選

- 4~6月
 - 2017年度 参加校 男子 66チーム
女子 42チーム
- 10~11月の新人大会、兼、全国選抜予選大会の、中央大会の上位4チームがシードされ、その4チームを除くチームで、南北ブロック大会を開催
 - 北ブロック大会(寝屋川参加)
2017年度 参加校 男子 31チーム
女子 20チーム
- 北ブロック大会でも、10~11月の新人大会、兼、全国選抜予選大会の、北ブロックの上位4チームがシードされ、まず、そのシード4チームを除くチームが、3チームずつでブロック・リーグ戦を行い、勝ち抜いた1チームが、北ブロック・トーナメントに進出
- 次に、北ブロック・リーグ戦勝ち抜いたチーム同士で、ブロック・トーナメント戦を行い、4チームを選出。そして、その北ブロック・リーグ戦を勝ち抜いた4チームと、北ブロックシード4チームで、トーナメント戦を行い、ブロック1~4位を決定し、中央大会に進出

- 中央大会は、まず、南北ブロック勝ち抜いた4チーム同士で対戦し、次にその対戦を勝ち抜いた4チームが、中央大会シード4チームと対戦、そして、その対戦を勝ち抜いた4チームで、トーナメント戦を行い、大阪府の1~4位の順位を決定
 - 7月開催の近畿大会に、大阪府より、男女5チームが出場
 - 8月開催のインターハイに、大阪府より、男女1チームが出場

- 試合時間、男女とも、25分-10分-25分
- 詳細は、インターネット「大阪高体連ハンドボール専門部」のホームページを、参照して下さい。

2018年

新年ハンドボールの報告

今年の「新年ハンドボール」が、1月13日(土)、微風、快晴の中、現役・OB・OG55名の参加のもと、母校寝屋川高校、グラウンド、セミナーハウスで、行われました。

正午からの親睦試合には、OG9名・OB7名の参加があり、現役と楽しく、プレーすることが出来ました。

その後の、第2部の懇親会は、セミナーハウス3階で、大森先生(6代目顧問)、堀川先生(8代目顧問)も参加して下さり、暖かい豚汁・おしるこを食べながら、恒例のビンゴゲームを行い、景品を受け取る時に、それぞれの名前・出身校・今年の抱負等を、皆の前で発表していただき、和やかな雰囲気の中、楽しく終えることが出来ました。

今回も、2部懇親会に、数名の若手OB・OGの方の参加もあり、総勢55名の、活気のある懇親会となりました。

現役も、顧問の赤星先生・堀川先生の、熱心な指導の下、目標に向かって頑張っています。

OB・OGの皆さん、現役達にOB・OGの往年のプレーを伝授するとともに、エールを送ってやって下さい。

8月の「盆サマーハンド」、プレー後の、美味しいビールを楽しみに、多数の方の参加を、お待ちしております。





2017年度・70期生

OB・OG会入会式

2月27日(火)卒業式前日、寝屋川高校セミナーハウスにて、今年度卒業生の、ハンドボール部OB・OG会の、入会式を行いました。

会長・副会長・顧問西山先生出席のもと、OB・OG会の入会認定証授与、記念品(シャープペンシル)贈呈、会則説明の後、今後のOB・OG会役員3名を、話し合いで、選出してもらいました。

平成29年度は、残念ながら、3年生の男子部員が、途中で、全員退部となり、下記の女子5名のみ、入会となりましたが、卒業後も、勉学に励み、社会人になっても、ハンドボール部で得た友、心・技・体を生かし、頑張ってください。

そして、次なるOB・OG会の、力となることを、期待しています。

70期生 … 山本璃奈、出口萌菜美、西畑柚香、菅原まなみ、
仙田清楓、
※下線は役員です。

2018年 総会・盆サマーハンドボールの案内

第26回総会、及び、盆サマーハンドボールを、下記の日程で行います。

OB・OGの方々も、真夏の練習や、合宿、そして、盆サマーハンド(ナイターハンドとも、言われていました)には、特に、沢山の思い出が、あると思います。

3年生が抜けた中、現役は、年々厳しくなる、炎天下のグラウンドで、頑張っていますので、是非、仲間と、連絡を取り合い、より多くの参加を、お願いします。

また、体力に、もう自信がない先輩方も、ゲーム観戦・応援で、現役から、エネルギーを貰いましょう。



日時：平成30年8月25日(土)

| | | |
|------|--------------|--------------|
| 総会 | ：1:00～ | セミナーハウス3階会議室 |
| 親睦試合 | ：14:00～ | ハンドボールコート |
| 懇親会 | ：16:00～17:00 | セミナーハウス3階会議室 |
| 2次会 | ：17:30～ | がんこ寿司寝屋川店 |
| 参加費 | 1,000円 | |

<雨天の場合>

| | | |
|-----|--------------|--------------|
| 総会 | ：13:00～ | セミナーハウス3階会議室 |
| 懇親会 | ：14:00～15:00 | セミナーハウス3階会議室 |
| 2次会 | ：15:30～ | がんこ寿司寝屋川店 |
| 参加費 | 1,000円 | |

口座番号 普通預金 1011226
口座名義 寝屋川クラブ 井上武久 (イノウエ タケヒサ)

※年会費：社会人 5,000円
学生 3,000円

平成29年度(2017.7～2018.6月)会費納入者 2018.6.30現在

- 3期 大槻明子 村田芳子 森広洋子 梅垣修三 中嶋直彦
- 5期 松本由紀子
- 6期 望月滋乃
- 7期 金馬桂子
- 9期 長澤邦子
- 12期 尾亀敬子
- 13期 土井利勝 平井謙二
- 15期 小倉裕子
- 16期 北村文雄 多賀谷博康
- 17期 中田順子 川口宗一郎
- 18期 木村圭子 谷村千津子 津熊美智子 木村慶次
- 19期 平井晴美 吉田裕紀
- 20期 仲尾由紀子 井川隆三 寺西啓三
- 21期 菊池和代 今堀太逸 北澤三郎 藤田敏裕 松尾信一郎
- 22期 小森園多恵子 古本まみ
- 23期 井上武久 葛木啓之
- 24期 小合省三
- 25期 竹内貴洋子
- 26期 地原繁信
- 27期 堀川美子 渡部安晴
- 29期 甫田裕佳理 吉田雅子 興井隆 望月光治
- 31期 大森孝志 田中裕一
- 32期 大地正広 西山直志
- 33期 大塚万里子 久木久美子
- 38期 笠松昭良
- 41期 安田郁
- 43期 小林恭子
- 44期 谷和哉
- 45期 大池和幸
- 55期 浦部佳奈子 大森さやか

会計よりの、御礼とお願い

23期 井上 武久

会員の皆様には、平素より本会の運営に、ご理解とご協力いただきますとともに、次掲の皆様には、平成29年度(2017.7～2018.6月)の会費を納入していただきまして、厚く御礼申し上げます。

現在、本会は、会員が増加しているにもかかわらず、会費収入が伸び悩み、会報発送等の費用増加のため、財政状況は、非常に厳しい状態となっております。

今後とも、本会の存続、発展、並びに、円滑な運営を行うため、平成30年度(2018.7～2019.6月)の年会費の払い込みにつきまして、会員各位のご協力を、よろしくお願いいたします。



払い込みには、同封の郵便振替払込書、又は、銀行振込みでお願いいたします。

・郵便局利用

口座番号 01100-6-73829
加入者名 寝屋川クラブ

(注)金額欄には「¥」を、書かないで下さい。

この振込用紙には、通信欄もありますので、会の運営に対しての、ご意見や、近況報告など、ご自由にご利用下さい。

・銀行振込利用

振込銀行 三井住友銀行 川西支店





58期 井本実和
59期 戸沢千咲子 土井安寿香
67期 岩崎 夏子

OB・OGの、ハンドボール取り組み

車椅子ハンドボール競技大会を観戦して
副会長 小合 省三 (24期)

前回12月号の会報で紹介しました、16期木野実さん(1972年ミューヘン、1976年モントリオールオリンピック日本代表)が、日本車椅子ハンドボール連盟の会長として、チャレンジしておられる、文部科学大臣杯第15回記念日本車椅子ハンドボール競技大会を、11月11日(土)～12日(日)京都府京田辺市中央体育館に、見学に行きました。

プレーは、7人制ハンドボールと良く似ていますが、競技種別があります。

①競技の部 … コート内には、女子、又は、障がい者が、必ず1名以上出ていること

②障がい者の部 … 全員、障がい者であること

③フレンドリーの部 … ジュニア(小学生の、男女に限る)

以上、3つの部に分かれて、熱戦が、繰り広げられました。

どの試合も、迫力満点の、車椅子同士の、ぶつかり合い。

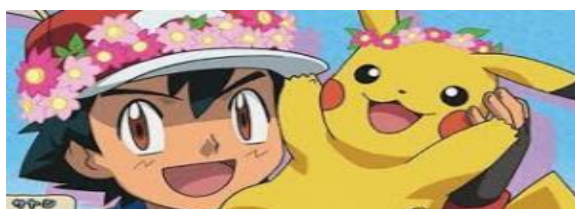
パスとシュートの、絶妙のコンビネーション。

そして一番は、障がい者の方との、協力、協働です。

お互いに、相手の立場になり、プレーしていることに、感動いたしました。

帰る時に、木野会長に、感想をお話したところ、「是非、皆さんに、会場に、来て見てほしい!」と、寝屋川高校の皆さんに、伝えてほしいとの、ことでした。

みんなで、応援しましょう!



会員だより

21期 北澤 三郎

寝屋川クラブ会報を、送付いただき、ありがとうございます。
今後も、毎年、忘れずに納入します。(2017.12.21受)

46期 長井 浩子(旧姓、吉田)

寝屋川クラブ会報、いつも楽しく読ませて、頂いています。
高校時代、真っ黒に日焼けして、ハンドボールに明け暮れていた事を、なつかしく思い出します。(2018.1.7受)

55期 浦部 佳奈子

昔、学生の頃、合宿に行くお金を、援助していただき、行くことができました。

その良い、思い出が、残っています。

ありがとうございました。

もし、学生さんの、支援になったらいいなと思い、振り込み、させていただきます。(2018.2.6受)

67期 田野田 郁海

女子のマネージャーをしていた、67期の田野田郁海です。

私は、今年度5月7～25日まで、寝屋川高校で、教育実習をさせて頂き、会報の投稿依頼を受けました。

実習の教科は、世界史でした。

3年ぶりに、寝屋川高校に帰って来て、授業する姿を、自分が高校生の頃、授業を受けていた先生方に、見てもらうという、気恥ずかしさもありましたが、母校で、実習できるという喜び、3年間を過ごした、母校の建物や、雰囲気の懐かしさなどを感じながら、3週間の実習を終えました。

堀川先生(8代目顧問、27期生)に、授業を見に来ていただいたときは、いつもより、緊張しました。(笑)

元マネージャーの自分が、部活動に行っても、何もできないのではないかと思い、赤星先生(7代目顧問)も、あまり来られていなかったため、実習の最初の方は、なかなかハンドボール部に、顔を出せませんでした。

しかし、勇気を出して、一度ハンドコートのをぞいてみると、堀川先生や1・2年生が、温かく迎えてくれました。

そこから、何回か、部活に、参加することができました。

女子は今、マネージャーがいないみたいなので、ボール出しや、ボール拾いをしたり、ディフェンスの代わりにしたりと、後輩たちと、楽しく活動しました。

部活をしている間は、「実習生」というよりも、「先輩」という、感覚でしたが、ふと「実習生」の視点で、部活を見てみると、授業やホームルーム活動とは、また違って、教室ではできない、生徒との関わりがあるんだなあと、思いました。

私は当初、プレーヤーとして、入部しました。

しかし、元々運動は、得意ではなかったため、練習についていけず、自分のせいで、チームが負けてしまっているのではないかと、よく思っていました。

先輩から、「何か一つでも、自分の武器を、見つけたらいいよ」と、言ってもらったのに、自分は足も速くない、体力もない、肩も強くない、かけひきも上手くないと、劣等感しかなく、1年生のクリスマスに、部活を、一度辞めました。

それから3か月間は、何もしていませんでしたが、春休みに入ったころ、女ハンの同期と、うどんを食べに、行きました。

そこで、「マネージャーやってや!」と、みんなに言ってもらいました。

最初は、「プレーヤーを辞めた身で、今さら、また部に戻るなんて、できない」と、思っていました。みんなが、何度も説得してくれて、マネージャーをやらせてもらうことに、決めました。

あの時、うどんを食べに行くと、本当に良かったなど、思います。

今、高校生活を振り返ると、高校1年生は、部活に行くのが、本当に苦痛で、毎日の学校生活にも、嫌気がさしていましたが、マネージャーとして過ごした、2・3年生は、とても楽しく、充実した、日々でした。

でもそれは、1年生のプレーヤーとしての、時期があったからこそ、マネージャーの日々だったのだと、思います。

あの時、辞めるといふ、決断をしたこと、マネージャーをするといふ、決断をしたこと、どちらも、後悔していません。

みんなと一緒に、最後まで、女ハンでいられて、良かったなど、思うばかりです。

私は、これから教師になるために、頑張っていきたいと、思います。

現役のみなさん、今は、私たちのころと比べると、かなり人数が少なく、大変なことも、多いと思いますが、みんな、声を出して、頑張ってください!

また、他の同期を連れて、のぞかせてもらいます。

(2018.5.26受)





<会員通信>

リレー伝言板

29期 久松 俊美 (旧姓、根来)

40数年前の、引き出しを、開けると



29期生である、私たちは、今年、還暦を迎えます。

高校時代を振り返ると、やはりあの3年間で、最も思い出が多いのは、ハンドボール部での日々だと、今になって、感じ入ります。

例えば、大阪市内の中学在学中に、ハンドボール部のシュートモーションの格好良さに、魅かれたのが、きっかけでした。

なのに、その中学には、男子ハンド部しかなく、女子は、入部者はいるものの、たった2人、部としての形を、成していませんでした。

そこで、小学校時代の友人5人に、声をかけ(かけられ?)、皆で入部、晴れて女子ハンドボール部、成立となりました。

初心者ばかりで、基礎ができていないのに、顧問の先生に、やたら練習試合に、連れて行かれ、10数連敗し続けた(当然!)のに、よく笑っていたのを、覚えています。

中学途中で、枚方市に引っ越した後、寝屋川高校に、入学した際も、迷うことなく、ハンドボール部に入部。

そこまでは、良かったのですが、それからの2年数か月、自分には、運動のセンスも、体力も、根性もないことを、思い知らされます。

橋本氏病という、甲状腺の持病もあり、戦力にならない私が、引退まで辞めなかったのは、居心地のいい、同期の雰囲気のおかげです。

私のことを、今も「カブ(魔法使いサリーの弟)」と呼ぶ、同期に感謝です。

高校2年生の、終わり頃だったか、長いミーティングがありました。

「勝つための、チームにするのか、楽しむための、チームにするのかを、自分たちで考えて、結論を出せ。」、顧問の先生からの、命題だったと思いますが、部長である、ゴエモン(小林千秋さん)から、切り出されました。

確か、その時、皆で出した結論は、「楽しむチーム」だったと、記憶しています。

この時、自分が何を言ったか(何も言わなかった?)、定かではありませんが、後に中学校で、勤務するようになり、クラブ顧問になった時、あの時の場面を、よく思い出したことを、今思い出しました。

しんどかった練習も、暑かった部室も、悶々と考えたことも、この40数年で、表には見えなくなったけど、自分の中には、ちゃんと残っているなあと、今回、ちょこっと、引き出しを開けてみて、しみじみ感じました。

高校卒業後は、スポーツとは決別し、現在は、プロの日本語教師として、市教委から、大阪市内の公立小学校に、派遣。

渡日児童など、日本語指導を必要とする、児童のために、年間6~8校を担当し、楽しく、日本語を、教えています。

2011年から始めた、ボランティアガイドは、もはや、ライフワークになりつつあり、週に一度は、大阪城や市内を、ガイドしています。

毎週、大阪城に、登城するようになった関係で、ただいま、日本百名城、続百名城踏破に向けて、進行中。

スポーツとは、遠ざかってしまいましたが、山城を、歩ける体力があることに、感謝する、日々です。

さて、次のリレー伝言板のバトンは、私の憧れだった先輩に、渡したいと思います。

男子ハンド部で、サイドのポジションだった、27期鹿兒島先輩、もしくは、大学でも、ハンドボールを続けた、同期の林ゆかりさん、あの頃の思い出、聞かせてください。

宜しくお願いします。

37期 矢澤 誠

寝高ハンド部の思い出



37期の、矢澤です。

85年卒業ですので、30数年前に、寝屋川高校で、ハンドボールをしていました。

私たちの時の、顧問の先生は、北岡先生と西邨先生でした。

当時の練習は、北岡先生が、高体連でいなくなる、インターハイの時期と、年末、および、元旦を除くと、休みがなく、夏に一回だけ休みの時に、サッカー部の友人と、日本海に行って、キャンプした、思い出が有りますが、それ以外は、ほぼ練習・試合、漬けでした。

定時制高校が始まる17時までの、練習だったことが、救いでしたね。

チーム内は、みんな仲良くコミュニケーションをとりながら、活動できていました。

女子部とも、うまくやっていたと、思います。

私は、中学時代に、バスケットボールをやっていたのですが、高校でハンドボールを始めて、のめり込み、大学時代の体育会、および、東京都のクラブリーグ一部で、通算17年程度、力を入れて、プレーをしました。

ハンドボールは、他のスポーツに比べて、点数が多く入りますが、ちょっとしたターニングポイントで、少しあった点差が、逆転されてしまったり、ここで1点、しっかりとって、逃げ切るぞというところで、フォーメーションで、点を取りに行ったり、1点勝っている場面で、何とか守り切って、逃げ切るぞみたいな、緊迫した場面もあり、とてもスリリングだと、思います。

こういった点が、のめり込んでしまった、理由なのかもしれません。

土・日に、OBの諸先輩方や、赤星先生(7代目顧問)の西寝屋川高校と、練習試合を数多く行い、実戦形式を積むことが出来たのも、非常に良かったです。

合宿は、滋賀県の米原高校に、行きました。

八幡工業と3高で、朝から晩まで、実戦形式の練習で、体力強化と、試合勘を積みました。

練習・試合とも、厳しかったです。勝った時は、とても嬉しかったですし、それを目指して、プレーしていたと、思います。

秋の大会で、浪商に勝って、ブロック2位となり、中央大会に行きました。

1回戦、登美ヶ丘高校に勝ち、2回戦は、当時、全国2位の、此花学院と、当たりました。

同じ高校生でありながら、トップクラスのチームとの対戦は、良い体験で、ハンドボールに対する意識も、変わりました。

夏のインターハイ予選は(その時は、敗者復活戦もあったのですが)、最後は、因縁の浪商に、接戦で敗れて、この時は、中央大会に行くことが、出来ませんでした。

女子は、近畿大会に行くような、強豪でしたので、男子も、頑張ろうとしたのですが、とても残念でした。

現役の方への、アドバイスは、何か一つ上のことに、目標を持ち(例えば、ライバル校に勝つとか、上の大会に行くとか、全国クラスのチームと当たった時に、シュートを決めてくるとか)、それを、つかみ取るという、経験を積んでいくのが、先々、ハンドボール以



寝屋川クラブ会報

外のことで、役に立ってくると、思いますので、チャレンジ精神を忘れずに、頑張ってもらいたい、と思います。

次のリレー伝言板ですが、強豪、女子部を語れる、同期のドラミさん（旧姓、橋本さん）か、寝屋高に来ていただいて、いろいろと指導していただいた、34期宮坂先輩に、つなげないかと思います。

よろしく、お願いします。

43期 池田 正文



皆様、こんにちは！

大学も一緒だった、藤江さん（旧姓、中野さん「さくらさん」）からの伝言リレーにより、寄稿することになりました、43期生の池田と、申します。

懐かしいです。

連絡をいただいたときは、電気屋にある、無料体験のマッサージ機で、小学2年の息子と、だらけていました。

失礼しました。

さて、寝屋川高校の記憶といえば、なんとといっても、ハンドボール（と、自由な校風）ですが、いま思い返すと、よくまあ毎日、練習をしていたなあ、と思います。

しんどかったですが、きっと続けられたのは、北岡先生（5代目、顧問）が教えてくれる、ハンドボールの奥深さと、僕を引っ張ってくれた、チーム仲間の、おかげだと思います。

ありがとう、ございました。

おかげで、現在でも、身体を動かすのは、嫌いじゃなく、会社での、ストレス発散も兼ねて、よくジョギングをしたり、息子と、サッカーや野球などのスポーツをして、過ごしています（ただし、ハンドボールだけは、老化を受け止めるのが辛い、しております）。

また、いまは、京都で、農業を振興する、公務員をしているのですが、今度、スポーツと、農の融合という、無理あり感ある、企画として、「田んぼラグビー」を、地元主体で、開催することとしております。

これも、学生時代の影響ですかね・・・（800人以上の、参加がありそうで、来年度も、続けられたらと、思っていますので、興味のある方は、是非ご参加ください。）

原稿を書きながら、息子に、尊敬しているスポーツ選手を、聞いてみたところ、メジャーリーグで活躍している、二刀流の大谷選手や、サッカーの本田選手などなど、たくさん名前を、挙げてくれ

ましたが、残念ながら、ハンドボール選手の名前は、出ませんでした。

確かに、テレビで、ハンドボール選手の映像は、あまり流れませんので、仕方がないのですが、過去には、寝屋川高校出身で、大活躍している選手が、多くおられます。

現役で、頑張っている、部員のみならず、身勝手な、お願いですが、是非、宮崎選手を超える、有名人となって、テレビで、たくさん映っていただくことを、祈願するとともに、一生に一回しかない高校生活を、存分に楽しんでいただき、いい思い出を、たくさん作ってください。

さてさて、このリレー伝言板には、ルールがあり、皆様ご存知のとおり、誰かを推薦・指名すること、となっております。

申し訳ございません！、同窓会で、連絡先を交換した、43期生の植松さんに、お願いしたいと思います。

よろしく、お願いします_(._.)_

51期 東山 亜貴子（旧姓、泉）



こんにちは。

同期の松村さんから、リレー伝言板の指名をうけました、51期女子キャプテンの、東山亜貴子（旧姓、泉）です。

同期の「まっちゃん」と、同じく…いえ、それ以上に、卒業以来、寝屋高ハンドボール部と、関わらせていただくことがなかったため、だいぶとまどいながら、原稿を書かせて、いただいています。

高校時代の、部活を思い出して、まず言えることは、先輩・後輩にめぐまれたこと、でも、なかなか勝てなかったなど、いうことでしょうか。

高校に入学して、今まで、触れたことのなかったスポーツに、興味があり、見学した、ハンドボール部。

そこには、なぜか、ひとりひとり、花の名前のあだなをもつ、優しい、先輩たちがいました。（恒例？のあだ名は、私たちの学年から、なくなったようです）

先輩方を通して、ハンドボールというスポーツにも、どんどん興味がわき、他の部活を、見学することなく、入部を決めました。

けれど、その時の、入部人数は、わずか2人。

しばらくして、1人増え、1年たって、マネージャーが、1人増えはしましたが、ごく少人数の、先行き不安な、スタートでした。

1年生のころに、出場した（見ていた）試合は、多分、記憶によるとですが、1勝もすることなく、終わりました。

さて、先輩たちが、引退を控えた、新学年。

これで、新入部員がいなかったら、男ハンのマネージャーでも、しようかな、半ば諦め、身の振り方を、考えていたところに、なんと14人の新入生が。

伝統ある、寝屋高女子ハンドボール部の、危機を救った彼女たちは、元気いっぱい、個性豊かな子ばかりでした。

その後、一応キャプテンである私は、彼女たちに、色々と、手をやくこともありましたが、活気あるチームへと、なりつつありました。（現在の1年生も、部員が3人とお聞きしました。もしかすると、来年は、救世主たちが、あらわれるかもしれませんよ！）

さて、活気あるチームに、なりつつあるものの、当初、大森先生（6代目顧問、31期生）は、男ハンの顧問であり、女ハンは、指導していただける、顧問の先生が、いませんでした。

そのため、OBの先生方には、とても、気にかけていただきました。中出先生（3代目顧問）には、未熟な私たちを、何度もご指導いただき、感謝しています。

そして、現顧問である赤星先生（7代目顧問）には、当時、顧問をしておられた、西寝屋川高校との合同練習を、定期的に、セッティングしていただきました。

職員室の黒電話越しに、「泉～、いついつおいで」と、声をかけていただくことは、とてもありがたかったことを、思い出します。

当時の生徒手帳には、まだ、先生の名刺が、はさんであって、懐かしいなど、思い出しました。（先生は、多分、覚えておられないかな・・・）

その後、女子も、大森先生から、指導してもらうことになり、初めての勝利を経て、1勝ただけで、おこがましく、中央大会にも、出場させてもらい（手も足も、出ずでしたが・・・）、負け続け脱出を、はかることができたのでした。

まさしく、寝屋高愛に満ちた、OBの先生方の、おかげですね。

寝屋高を、卒業してから20年。

これまで、出会った人たちと、むかし部活なんだった？と、話題になることがあります。

そこで、ちょくちょく、「ハンドボール！」という人に、出会います。

そして、間違いなく、親近感がわきます。

サイド！ポスト！45！と、ポジションの話をしたり、ずっと口にできなかった、ハンドボール用語で、盛り上がります。

今は、サッカーに夢中の息子も、中学、高校で、ハンドボールに目覚めないかな、などと思うのは、母の胸の内に、そっとしまっておくことにします。



寝屋川クラブ会報

こんな終わり方で、申し訳ないですが、次回のバトンを・・・、同じ51期生で、一番笑いをとっていた（と、いえば、多数から、突っ込みが、入りそうですが）、「サム」こと、長野良太くん、もしくは、元クラスメイト、文化祭で、かっこよくギターを弾いていた、「しゅうぞう」こと、松岡貴晃くん、51期女子、（入部当初は、2人で心細かったね）、塚田（旧姓：川上）恭子さんの、どなたかが、私のバトンを、受け取ってくれますように！！、楽しみにしています。

60期 森田 智世



初めまして！、60期生の森田智世です。
旧姓…、ありませんでした、笑
まさか、私が、この会報に、投稿する日がくるとは・・・
メル先輩、ご指名、ありがとうございます！
私が、入部したきっかけは、「珍しいスポーツ」だったからの、一言でした。
それからは、あっという間の、2年間でした。
冬でも、半袖・半ズボンで、走っていたあの頃が、懐かしいです。
朝、早く起きて、家を出るのは、とても苦手でしたが、朝練は、好きでした。
1つ上の、ジャッキー先輩が、毎朝一番に来て、準備運動をしてから、校庭を10周走り、朝練に参加していることを、知ってから、みんな先輩を見習って、走って練習していたことを、覚えています。
私が、一番印象的だった試合は、2年生の春の、大会でした。
愛ちゃん（私たちの代では、キャプテン）が、手を捻挫して、代わりに出た、試合でした。
今まで、試合に、自分が出るという意識を持たずに、練習をしていたので、気持ちも、落ち着かず、私の守っている、サイドからばかり、攻められ、本当に、申し訳ない気持ちと、悔しい、情けない気持ちに、なったのを覚えています。
今でも、あの試合のシーンは、忘れられません。
あれから、遅いけど、練習を、真剣にするようになったと、思います。
試合としては、パツとする結果は、残せませんでしたでしたが、あの頃、一緒に頑張った仲間は、本当に宝物です。
年に何回か（いや、一部は何回も？）、会って、近況報告をしています。

会って話す度、やっぱり、高校の時に、ハンドボールをしていて、良かったなと思います。

仕事や、私生活の悩み、しょうもない話、どんな話も、出来ます。みんな、環境は、変わったけれど、今でも、会えば、あの頃に戻ったかのように、いろんな話をします。

そして、それぞれが、頑張っているから、負けてられないなと思って、頑張れます。

私は今、社会人7年目で、銀行員をしています。

4月から、転勤をして、新しい環境で、悪戦苦闘の日々。

相変わらず、私の雑さは、変わりませんが、なんとかやっています。

話は変わりますが、昨年の夏休み、愛ちゃんの、結婚式のビデオ作製で、ハンドボール部に、少しお邪魔させていただきました。

やっぱり、高校生の元気や、笑い声って、本当に楽しそうで、良くなって感じました。

凄く、元気で、明るい挨拶を、してもらって、背筋が、伸びました。

凄く、光ってて、羨ましかったです。

そして、やっぱり、全然動けないけど、ハンドボールをしたいなって、気持ちにさせてもらいました。

なかなか、応援には、行けませんが、会報等で、いつも応援しています。

あの時、快く、写真やビデオ作製に、参加して下さった、先輩、61期生の皆さん、本当にありがとうございました！

やっぱり、仲間に、恵まれてるな～って、思いました。

メル先輩同様、行く行く詐欺だらけですが、みんなで落ち着いたら、お邪魔したいと思います。

赤星先生（7代目顧問）、その時は、またよろしくお願いします！！！！

赤星先生には、沢山、大きな声で、注意されたけど、沢山の持ちネタで、笑わせてもらって、褒めてもらって？、とても良い思い出が、沢山あります。

いろいろ話が、脱線しましたが、高校時代に、ハンドボールを、みんなと一緒にできて、良かったと、今でも思ってます！！！！

さあ、昔からいっつも、私は誰にバトンを渡すんだろうと、思っていましたけど…、悩んだ結果、富山県で奮闘しているだろう、当時マネージャーをしていた、稲葉美由子（旧姓、橋本）さんか、同じ交野市民ということで、同期の片岡君へ、バトンタッチしたいと思います！！！！

よろしく！（言ってみたかった、やつです、笑）

68期 森脇 裕司

寝屋川高校68期、ポジション、ゴールキーパーの森脇 裕司です。
顧問は、寝屋川高校、27期堀川先生。（8代目顧問）

今回、リレー伝言板を、担当することになりましたが、寝屋川高校ハンドボール部での、3年間は、私にとっては、苦い思い出も多く、今回の、このリレー伝言板を書いていくと、当時の苦い思い出が、鮮明に蘇り、冷や汗をかくことも、多かったです（笑）。

しかし、この3年間で、一番変わらせてもらったのは、私だと考えるくらい、このハンドボールでの経験は、大きかったです。

私が、どのような経験が、大きかったのかを、今回、話していきたいと、思います。

ハンドボール部で、一番大きな経験となったことは、人前で、堂々と、自分の意見を、話すことが出来るように、なったことです。

「当たり前、ことじゃん（笑）」と、これを聞いて思うような方が、いるかもしれませんが、この当たり前が、出来ていない方が多く、私は、特に、ハンドボール部に入る前は、出来ていませんでした。

では、どうして、上記のようなことが、出来るようになったかと言うと、2年生になり、先輩が現役を退く時に、キャプテン、副キャプテンを、決めるときに、自分は、副キャプテンに、選ばれました。

あまりプレー面で、引っ張っていける、自信がなかったの、「自分は、チームのために、何が、できるのだろうか？」と、考えた結果、練習中の声出し、そして、ハンドボールの技術面での、注意だけではなく、ふざけた態度を、取っている人が、いないか、部屋の戸締りなど、生活面は、人並み以上に、注意しようと、副キャプテンになった時から、心掛けました。

最初は、声出しも、あまり大きな声を、「練習でしんどいし、声を出すのが、恥ずかしいという、気持ちもあり」、出すことが、出来なかったのですが、1年生の時は、先輩もいて、あまり自分たちに、日が当たらないこともあり、堀川先生に、注意される機会も、少なかったのですが、2年生になり、自分たち2年生が、部活を引っ張っていく、存在となったため、堀川先生に、注意される機会が、1年生に比べて、2年生のほとんどの人が、多くなりました。

その時に、堀川先生に、声が小さいと、当たり前のよう、注意されました。

実際、ある練習の日では、自分が、何が、悪かったかを、プール近くの時計塔から、ハンドボール





コートまで、聞こえるような声で、出さないといけない、状況もありました（笑）。

よって、私は、「ハンドボール部では、声が小さいかどうかで、気にしている、余裕はない。声なんか、出せば、いいだけだ。」と、しっかり、声を出す大切さが、分かるようになり、はきはきと、しゃべれるように、なっていました。

声を、はきはきと、出すことが出来る＝自信が、あるように見えたり、明るく見えるようになるため、人の目を、気にすることが減り、大学生活では、プレゼンテーションなどでも、優秀賞に選ばれたり、ハンドボール部に入る前の自分では、考えられないほどの成長を、ハンドボール部では、させてもらえました、寝屋川高校ハンドボール部、特に、顧問が堀川先生だと、なぜ注意されたのか？、そこから、自分はどうしないといけないのか？を、考えて、自分の口で説明する機会が、多いので（自分は、現役時代、よく堀川先生に、注意されることが多く、何で注意をされているか、答えが全く出せず、負のスパイラルに、はまった男です。笑）、自分で、考えて、行動する力が、とても鍛えることが、出来ます。

自分で考えて、行動できると、思っている方でも、そういう機会を、あまり経験していない方なら、実際、できていないことが多いです。

自分も、ハンドボール部に入るまでは、「自分は、ある程度物事を、客観視できる人物」と、思っていたが、顧問の堀川先生とあってから、「自分は、天狗だったなあ」と、思い知りました（笑）。

人に流されて、自分の意見を、全く持たない人なのか、自分の考えを、しっかり持っているのかは、バイトや大学生活の中でも、見えてくるので、そのような機会を得られた、ハンドボール部は、本当に、いい経験だと、今でも思います。

それでは、今回の引継ぎ者ですが、1人目は、中学校で、同じ部活で、高校でも、一緒にハンドボール部だった、69期の木村 俊彦君、木村君は責任感が強く、ハンドボールのプレイも、ポジションがトップで、後輩でありながら、私たちの練習試合や、公式戦にも、出てくれたことがあり、とても経験豊富なため、選ばせてもらいました。

2人目は、同じキーパーというポジションである、69期早川 大智君は、やはり同じポジションで、選んだということもありますが、やはりキーパーから、見たコートの見方は、フィールドプレイヤーとは、全然違うため、早川君が書いた原稿で、プレーのことを書いていたら、早川君の同期にも、「キーパーって、そういう風に考えてたんだ、こういう風に考えてたんだ」など、知れる機会が、あるかもしれないからです。



以上、リレー伝言板の引継ぎ者として、選ばせてもらい

ました。
宜しく、お願い致します。

- ① 「会員通信・リレー伝言板」では、会員の皆さんを、大体10年単位8グループに分けて、皆様に、現役の時の思い出、卒業後のハンドボールとの関わり、近況等を、自由に綴っていただき、日頃疎遠になりがちな、顧問の先生、先輩、同期、そして後輩へ、会員通信として、リレー形式でつないでもらって、会員の皆さんに紹介をし、親睦の輪を広めたいと思っています。（但し、3～15期の第1グループについては、現在、引継ぎがうまく出来ず、休止状態となっています。）
- ② 本文では、今回の寄稿者の方には、次回の寄稿者の指名を行っていただいています。
次回に指名された方には、次回の会報発行時に、OB・OG会役員より、寄稿のお願い、要領等の連絡をさせていただきますので、その節には、ご協力の程、よろしく申し上げます。
- ③ 会員の皆様、今回掲載されました内容について、感想、コメント等、あなたの熱いメッセージを、別紙「会員だより」で、FAX072-849-7237、又は、[メール kkteranishi@yahoo.co.jp](mailto:kkteranishi@yahoo.co.jp)で、事務局 20期寺西啓三まで、お寄せください。



< お 願 い >

会員の皆様で、住所、電話番号の変更や、訃報、又、今までの送付先が実家で、変更希望をされる方は、別紙「会員だより」で、お知らせ下さい。

事務局 20期 寺西啓三
〒573-0013 枚方市星丘 4-12-8
TEL 090-5887-8777
FAX 072-849-7237
パソコンメールアドレス kkteranishi@yahoo.co.jp

